

起因物（小）別コードno.141 整地・運搬・積み込み用機械労働災害発生状況

業種別整地・運搬・積み込み用機械労働災害発生状況（1999-2021年）

業種	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	合計
010101 肉製 品、乳 製品製 造業							1				3	1									2	1		8
010102 水産食 料品製 造業																								
010103 農業保 存食料 品製造 業							1														1			2
010104 パン、 菓子製 造業																								
010105 酒類製 造業								1																1
010106 飲料 （酒類 を除 く）製 造業																								
010109 その他 の食料 品製造 業							1	2	1	1	1	1					1	1						9
0101 食料品 製造業							2	1	3	1	4	2	1					1	1		3	1		20

011109	その他 の非鉄 金属製 造業		1	1											1					1	4	
0111	非鉄金 属製造 業		2	2							1	1	1					2	1		10	
011201	洋食 器・刃 物製造 業																					
011202	ねじ等 製造業																					
011203	金属プ レス製 品製造 業																					
011204	めっき 業																					
011209	その他 の金属 製品製 造業		4	1		3	1	1	2	1	4	2	1	2			2	1		2	1	28
0112	金属製 品製造 業		4	1		3	1	1	2	1	4	2	1	2			2	1		2	1	28
011301	機械 (精密 機械を 除く)		2	3		1	1				1	2	2	3	1		2	1	3		1	23

0303 その他の建設業			13		14		7	6	7	7	7	6	6	9	10	19	10	13	9	13	13	15	20	204
03 建設業			220		224		173	191	153	143	124	157	126	134	138	127	142	126	136	142	118	106	138	2,818
040101 鉄道・軌道業										1		1							1		1	1	5	
040102 水運業																								
040103 航空業																								
0401 鉄道・軌道・水運・航空業										1		1							1		1	1	5	
040201 ハイヤー・タクシー業							1			1														2
040202 バス業							1							1	1		1	1						5
040209 その他の道路旅客運送業										1										1				2
0402 道路旅客運送業							2		1	1				1	1		1	1		1				9
040301 一般貨物自動車運送業			14		18		12	10	20	7	13	8	6	12	16	12	12	12	17	10	10	10	9	228

その他の接客 娯楽業			6		3		3	6	9	8	6	2	6	2	6	4	5	4		5	2	6	3	86
14 接客 娯楽業			7		4		3	7	11	10	7	4	7	2	7	4	6	4	1	6	3	9	3	105
150101 ビルメンテナ ンス業					1		1		2				1		1				1			1	1	9
150102 産業廃 棄物処 理業			15		12		15	15	14	18	14	13	8	17	14	9	15	21	19	14	15	14	16	278
150103 その他 の廃棄 物処理 業			4		3		5	1	2	2	4	2	2	5	4	1		3	5	7	2	4	2	58
150104 火葬業																								
150105 と畜業												1	1											2
150109 その他 の清 掃・と 畜業			1		3		1	4	2	1	1		1	2	2	1		1			1	1	1	23
1501 清掃・ と畜業			20		19		22	20	20	21	19	16	13	24	21	11	15	25	25	21	18	20	20	370
15 清 掃・と 畜業			20		19		22	20	20	21	19	16	13	24	21	11	15	25	25	21	18	20	20	370
160101 官公署							1												1					2
1601 官公署							1												1					2
16 官公 署							1												1					2

陸上貨物取扱業	1				1							1									3
0501 陸上貨物取扱業	1				1							1									3
050201 一般港湾運送業																					
050202 港湾荷役業							1				1			2		1		1			6
050209 その他の港湾運送業																					
0502 港湾運送業							1				1			2		1		1			6
05 貨物取扱業	1				1		1				1			2		1		1			9
060101 農業	1											2									3
0601 農業	1											2									3
060201 木材伐出業	4	1	1	1	1				1	1									1		11
060209 その他の林業		1							1			1				1					4
0602 林業	4	2	1	1	1				1	1	1					1			1		15
06 農林業	5	2	1	1	1				1	1	1					1			1		18
070101 畜産業	1				1	3			1	2		1				2		1	1		13

その他の接客 娯楽業 -その他				2																		2		
1403 その他の接客娯楽業			2	2		1		1					2		1						1		10	
14 接客娯楽業			3	2		1		1		1			2		1						1		12	
150101 ビルメンテナンス業																								
150102 産業廃棄物処理業	1	4	2	1	3	1	2			1	1	1	1		1	1		2	2		1	3	28	
150103 その他の廃棄物処理業		1			1	1				1		1			1						1		7	
150104 火葬業																								
150105 と畜業																								
150109 その他の清掃・と畜業																						1	1	
1501 清掃・と畜業	1	5	2	1	4	2	2			2	1	2		1	1	1	1		2	2	2	1	3	36
15 清掃・と畜業	1	5	2	1	4	2	2			2	1	2		1	1	1	1		2	2	2	1	3	36

2012	9	16 ～ 17	キノコ栽培で使用が終わったおがくずをトラクターショベルを使用して掻き上げた。作業終了後、トラクターショベルの置き場に戻る途中の作業道（下り坂）にて、当該トラクターショベルが横転した。	60101	7	10 ～ 29
2012	6	11 ～ 12	被災者は前日の台風により地山の一部（傾斜20度）が崩壊したことに伴う復旧作業を行っていたところ、自身が運転するホイールローダーが何らかの原因により転倒し、被災者が車体から投げ出された後、当該ホイールローダーと地面との間に挟まれ、死亡した。	140301	7	30 ～ 49
2012	12	8 ～ 9	高さ約1mの残土の上でブルドーザーを運転し残土の均し作業に従事していた被災者が、意識不明の状態で見守りしていた周囲の地面の上に倒れているのが発見され、搬送先の病院で死亡した。なお、発見時、被災者が運転していたブルドーザーは残土から約30mほど離れた場所に停止していた。	30199	1	50 ～ 99
2012	9	9 ～ 10	砂利の混合作業を行うため、トラクターショベルをバック走行で作業場所に向かっていったところ、砂利を野積みする場所を写真撮影するために後方を歩いていた被災者に気づかずにかぶさってしまった。	80209	7	1～ 9
2012	10	17 ～ 18	飼料畑にて、被災者はトラクターショベルで堆肥をならす作業をしていたところ、当該敷地に隣接し約2m下にある畑に重機ごと転落し、重機に挟まれ骨盤等の複雑骨折により死亡した。	70101	1	1～ 9
2012	11	14 ～ 15	枯れ松の伐倒及び搬出作業において、チェーンソーにて伐倒した松の木の幹にワイヤーロープを玉掛けし、ワイヤーロープの他端をトラクター・ショベル（機体重量2.3t）のバケット上面に溶接止めしたフックに掛け、被災者がトラクター・ショベルを後進させて伐倒木を運搬していたところ、トラクター・ショベルの機体が傾いて転倒し、当該トラクター・ショベルの下敷きとなった。	140301	2	30 ～ 49
2012	4	14 ～ 15	農業用水路の配管設置工事の一環として、深さ1.68mの農業用水路内で小型バックホウの排土板を用いてバックで運転しながら用水路の底の堆積物を寄せ集める作業を行っていたところ、用水路に渡された梁に背中を押される格好で、梁と小型バックホウの運転席との間に挟まれた状態で同僚の労働者に発見され、外傷性窒息により死亡した。	30199	7	1～ 9
2012	11	13 ～ 14	被災者単独で、ドラグ・ショベルを用い法面の掘削作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルもろとも転落した。	30108	1	1～ 9
2012	7	21 ～ 22	ノロ処理場において、被災者は冷却後のノロを移動するためトラクター・ショベル（機体質量9,150kg）を運転し、駐機場から処理場に移動した。同僚がラガー車でノロを運んできた際、ノロ冷却に使用した水を貯めておくピットにトラクター・ショベルが転落しているのを発見し、被災者を捜索したが発見できないため警察に連絡。警察等が被災者を発見したが、既に死亡していた。	50101	1	30 ～ 49
2012	2	13 ～ 14	被災者はドラグ・ショベルの運転手とともに重さ約800kgの敷鉄板を移動させる作業を行っていた。運転手がドラグ・ショベルにて敷鉄板を吊上げ、コンクリートブロックに立てかけ、次に被災者が敷鉄板に掛けられていた玉掛ワイヤーを外していたところ、運転手が当該ワイヤーを外し終わったと誤認し旋回したため、敷鉄板が被災者の方に倒れ、下敷きとなり死亡した。	10909	5	1～ 9
2012	11	8 ～ 9	客先事業場木材チップ仮置き場において、被災者はトラックにて木材チップを搬入した後、トラックを降りて木材チップ仮置き場に行き、チップサンプルを採取していたところ、客先労働者が運転し、後進しているトラクター・ショベルに轢かれた。	150102	7	10 ～ 29
2012	11	13 ～ 14	土砂置場で、ダンプカーの運転手である被災者は、同僚の労働者が運転するドラグ・ショベルに轢かれた。	30199	7	1～ 9

2012	6	9 ～ 10	大雨の影響で土砂崩れが発生し、鶏が水を飲むためのパイプが詰まったため、トラクターショベルにより土砂の除去作業を行っていたところ、バケットに入れた土砂の重量でバランスを崩し、横転。オペレーターであった被災者は、トラクターショベルの下敷きとなり死亡した。	70101	2	10 ～ 29
2012	5	17 ～ 18	当日の収穫場所である畑から、別の畑へホイールローダーを運転して市道を移動中、約70cm下の畑へ転落したものの。体を投げ出され、ヘッドガードと地面の間に胸を挟まれ、救急搬送先の病院で肺圧迫のため死亡が確認された。	60101	17	1～ 9
2012	3	8 ～ 9	資材置き場において、被災者が一人で積載型トラッククレーン（つり上げ荷重2.93t、4tロング）の荷台後部に架けた登坂用足場板（アルミブリッジ）2本を使用し、トラクターショベル（機体重量1,975kg）を後進させて同荷台に積み込む作業を行っていたところ、荷台後部にあった同トラッククレーンのジブ先端に激突し、ジブ先端と同ショベルのハンドルとの間に胸部を挟まれた状態で発見された。	30199	3	10 ～ 29
2013	7	10 ～ 11	碎石プラント敷地内において、トラクターショベルにより通路の整地作業が行われていた際、その後方を作業員が横断し、後退してきたトラクターショベルに轢かれた。	20201	6	10 ～ 29
2013	11	9 ～ 10	被災者らは、賃貸住宅新築現場において、被災者を含めた4名にて敷地内の低地を水平に均すため、同僚作業員が0.5?のドラグショベルで盛り土をし、被災者が0.2?のドラグショベルの排土板で均す作業を行っていた。その際、被災者が均し作業のためドラグショベルを前進させたところ、同僚労働者が操作するドラグショベルが盛り土をしようと旋回してきたため、そのバケットが被災者の左側頭部に激突した。	30201	6	1～ 9
2013	10	13 ～ 14	事務所から出た被災者は、自分の運転するダンプに戻ろうとしたところ、前進してきたトラクターショベルに頭部をひかれ死亡した。	40301	3	1～ 9
2013	7	20 ～ 21	被災者は、スラグを積んで走っていたホイールローダーの左前輪に右下半身を轢かれた。尚、被災者が当時何の作業していたのか不明である。	11009	6	50 ～ 99
2013	4	13 ～ 14	被災者は、廃車を処理する作業場にて、乗用車1台を運搬中のトラクター・ショベルにひかれて死亡した。	150103	7	50 ～ 99
2013	10	16 ～ 17	道路建設工事現場において、ブルドーザーを運転していた被災者は、ブルドーザーとともに路肩から約3.5m下の地面に転落し、ブルドーザーの下敷きとなった。	30106	1	10 ～ 29
2013	11	16 ～ 17	河川の築堤工事現場において、場内にあった4tダンプのバッテリーが上がっていたため、同場内のブルドーザーをダンプに横付けし、お互いのバッテリーをケーブルで繋いでいたところ、ブルドーザーが突如後退し、ブルドーザーの左クローラー後部で作業を見ていた被災者が轢かれた。なお、ブルドーザーはエンジンをかけたままであった。	30199	7	10 ～ 29
2013	3	10 ～ 11	機体重量約17トンのトラクター・ショベルを使用し、長さ約4メートルに切断した木材のカットマスと呼ばれている仮置き場から第一工場まで木材を運び、方向転換しようとしてバックで走っていたところ、作業場にいた被災者に激突した。	10401	6	300 ～
2013	7	16 ～ 17	船積設備の地下通路（高さ約1.4m）の埋戻し作業を、ミニドラグ・ショベル（機体重量870kg）を運転して行っていたところ、地下通路の天井とミニドラグ・ショベル運転席の安全バーに首を挟まれた。	30209	7	10 ～ 29
		13				30

2014	11	14	ゴルフ場にて、ブルドーザーで走行路の整地作業中、ブルドーザーとともに路肩から斜面を転落。反転したブルドーザーの下敷きになった。	140301	1	1	49
2014	11	17	雑木の伐採及び集積作業中、被災者が運転するトラクターショベルが、橋に設けていたガードレール及びガイドパイプを突き破り、下の川に転落、横転した。	20201	1	1	29
2014	11	18	ホイールローダーをトラックの荷台に載せるため、トラックの荷台後部に道板を掛け、被災者がホイールローダーを運転し、道板上を後進で上っていたところ、前輪が脱輪したため、ホイールローダーが転倒。被災者は、転倒から逃れようと運転席から離れたが逃げ切れず、被災者はヘッドガード部分の下敷きとなった。	40301	6	1	9
2014	10	10	構内にて、被災者が、20メートル程離れた場所にいたドラグ・ショベルオペレーターに作業開始の合図を送っていたところ、トラクター・ショベルオペレーターが、後方に被災者がいることに気付かず、車両系建設機械を後退させ、被災者が轢かれ、死亡した。	10909	7	1	9
2014	10	12	同僚が、プラントにて、トラクター・ショベルを運転し、砂利等の運搬作業を行っていた際、通路上に被災者がいることに気が付かず、接触し、地面に倒れている被災者が発見された。	20202	7	1	9
2014	10	14	法面の立木の伐採を行うため、林道上にて、ドラグショベルを後進させたところ、林道路肩より3.5m下の沢にドラグショベルごと滑落。外傷性多発により死亡した。	30106	1	1	29
2014	8	14	ブルドーザーを使い押土作業中、ブルドーザーから転落し、クローラに腹部を強打した。	30106	3	5	99
2014	8	11	コンクリートブロックをドラグ・ショベルで吊り上げ、ダンプに積み込む作業中、ブロックにワイヤーロープを掛けようとしていた際、被災者が転倒したところ、ドラグ・ショベルの運転手が操作を誤り、バケットとブロックの間に被災者が挟まれ、頭部を負傷し、死亡した。	30199	6	1	9
2014	3	18	被災者は、港岸壁にて、客先の船が商品である土を積み込んだ際、こぼれ落ちた土をホイールローダーで集積する作業をしていた。その後、岸壁付近の海中から被災者が乗った状態のホイールローダーが発見された。	80109	1	1	9
2014	3	18	被災者は、砂採取場にて、ドラグショベルで掘削した土石をブルドーザーで押していたところ、ブルドーザー直下の地盤が崩落し、崩落してできた穴に転落。転落した衝撃でブルドーザーの外に投げ出され、上半身が土砂に埋まり、窒息死した。	20202	1	1	29
2014	3	9	トラクター・ショベルで除雪作業中、雪を用水路に捨てようとしたところ、トラクターショベルごと用水路に転落し、下敷きになった。	80204	1	1	9
2014	2	18	雪堆積場にて、被災者はブルドーザーを操作し、雪をステージ（排雪ダンプが搬入した雪を降ろす場所）付近から雪山の頂上まで押し上げて移動させていた。頂上付近まで押し上げたため後退（進行方向の斜度17度、法肩方向の斜度8度）していたところ、横滑りして雪山の法肩から斜面を1回転しながら2.1m滑落し、キャビンの中で頭部を強打した。	30199	1	1	9
2014	2	14	産業廃棄物の中間処理を行う事業場敷地内にて、木製の廃材を集積させる為に車両系建設機械（トラクターショベル）を使用していたところ、付近で当該廃材を搬入してきたトラック及びトラクターショベルを誘導していた被災者	150102	6	1	9

		15	が、トラクターショベルと激突し死亡した。			
2014	1	10 ～ 11	プラントにて、被災者の同僚作業員がトラクター・ショベル（機体重量5250kg）を運転して堆肥（残渣と牛糞）を混合させる作業を行い、被災者はトラクター・ショベルの後方でスコップを使用して堆肥の後始末をしていた。同僚作業員がトラクター・ショベルを後退させたところ、後方にいた被災者に気がつかずに轢いてしまった。	11709	7	1～ 9
2014	1	16 ～ 17	製品（コンクリート製マンホールボックス、直径1.75m、組立高さ3.0m、総重量5.2t）の納入先にて、被災者は、製品の据え付け箇所下部（地上から約3.0m下）に降り、不良箇所を補修していたところ、上部にて別の作業を行っていたドラグ・ショベルが転落し、押し倒された製品と法面の間に頭部及び胸部を挟まれた。	10901	5	50 ～ 99
2014	1	11 ～ 12	資材置場にて、船と呼ばれる生コンクリートを入れる鉄製の箱をドラグ・ショベルを使用してトラックに積み込んだ後、ドラグ・ショベルを運転していたところ、トラックの荷台にいた被災者にドラグ・ショベルのバケットが激突した。	30199	6	10 ～ 29
2015	12	11 ～ 12	伝票を受領するため、碎石工場敷地内にダンプカーを止め、当該敷地内事務所へ徒歩で向かっていたところ、後進して荷（山砂）を運んでいた、碎石工場のトラクター・ショベルに轢かれ死亡したものである。	40301	7	10 ～ 29
2015	9	17 ～ 18	高速道路建設工事に付帯する周辺道路の舗装工事において、作業場所から現場詰所までの下り坂間で右曲がりカーブの箇所にホイールローダが転倒し、当該ホイールローダのヘッドガードと地面の間に運転していた被災者の頭部が挟まれた状態で発見され、病院に運ばれたが約1時間後に死亡したものの。	30106	2	10 ～ 29
2015	5	8 ～ 9	被災者等6名は、船舶にカンラン岩を積み込むため、岸壁側に移動式のコンベヤーを設置する作業を行っていたが、設置したコンベヤーの位置を修正することとなり、下請け事業場の作業員がコンベヤーの乗っている架台の後方をトラクターショベルのバケットで持ち上げて、そのまま後方に移動させたところ、近くを歩行していた被災者がコンベヤーの架台の車輪にひかれて死亡した。	50202	7	50 ～ 99
2015	12	14 ～ 15	被災者は、トラクター・ショベルのバケットに水300リットル入りのタンクと噴霧機械が入った金属枠を載せて、これをトラックに積み込むためにバケットを持ち上げたところ、機体が前輪を支点にして前のめりになったため、バケットが機体から外れ、その反動で後輪を支点にして前輪が浮き上がり、さらに前輪を支点にして後輪が浮き上がる動作を繰り返す中、被災者が運転席から投げ出され、機体左前輪の下敷きとなったもの。	150102	6	10 ～ 29
2015	1	16 ～ 17	接岸中の貨物船の船倉内において、石炭をブル・ドーザーにより集める作業を行っていた被災者が、1.4mの落差のある箇所を走行した際にブル・ドーザーの運転席から投げ出された。ブル・ドーザーはそのまま走行し続けたため、被災者は再度運転席に戻ろうとし、その際に履帯（クローラ）に巻き込まれ、下敷きとなり、全身を圧迫され死亡したものの。	50202	7	100 ～ 299
2015	4	16 ～ 17	法面工事に使用したラス金網の余剰分（500kg）をドラグショベル（機体重量4.5t）の爪でつり上げ、工事現場内の重機用進入路（傾斜角18～30度）を前つりで走行（下り）していたところ、機体が前のめりに転倒し、運転席から投げ出された被災者がドラグショベルのアームの下敷きとなったもの。	30106	2	50 ～ 99
2015	8	19 ～ 20	事業場内において、粒度分別用の網（重さ1トン）の補修作業を行うため、トラクターショベルのバケットの爪で網の端部を引っ掛けてつり上げ、網をほぼ垂直に立て、網の下部を地面に降ろした状態で番線の増し絞め作業を行っていたところ、バケットの爪から網が外れ、被災者の方に倒れて下敷きになった。	80109	5	10 ～ 29
2015	12	11 ～ 12	会社の敷地内で、建築資材の整理作業において事業主がトラクター・ショベル（機体重量3.36T）により建築廃材をコンテナに積み込みし、同ショベルを後進した時に、木片の盛りに混じったゴミを拾おうと被災者が同ショベルの後側に立ち入ったために、同ショベルに轢かれたものである。	30199	7	10 ～ 29
2016	12	15	バックホーを使用して、現場に運び込まれた盛土を掘削箇所に埋め戻し作業中、手前側の盛土をすくうため、重機を	30201	6	1～

		16	移動させたところ、重機の近くにいた作業員が重機に接触し、轢死した。				9
2016	12	18 ～ 19	被災者は、除排雪業者の雪捨て場において、ダンプトラックにて雪を運び込み排雪後、ダンプトラックから降車していたところ、雪ならしのため後進してきたトラクターショベル（除排雪業者）の右後方に激突された。	80409	6		1～ 9
2016	11	13 ～ 14	被災者と事業主の2名で、当該事業場と事業主自宅を兼ねる敷地内の庭において、顧客に見せるための庭を整備中、被災者が飾り用の古木をワイヤーで玉掛けした後、事業主がドラグショベルを運転し当該古木を一本吊りで吊上げ移動させた際に、吊上げた古木が立木に衝突して古木先端部が折れ、これが飛来し被災者の頭部に激突した。	30109	4		1～ 9
2016	9	13 ～ 14	被災者は、タイヤショベルのオペレーターである。盛土した作業用通路（長さ約10m、幅員約5.5m、高さ約1m）を空荷で後進中、左後輪が路肩から逸脱して横転、約1m転落したタイヤショベルの運転席フレーム部分の下敷きになった。	30109	1		30 ～ 49
2016	7	13 ～ 14	下請として施工中の解体現場から搬出された家屋廃材等を4t車（アームロール）により、事業場に搬入した。所定の位置にダンプアップにより廃材を降ろした後、車両から降り荷台のあおりを閉める作業を行っていたところ、他の作業者が運転するホイールローダーが後進してきたため、被災者は車両荷台とホイールローダーの後部に挟まれた。	30209	7		10 ～ 29
2016	6	14 ～ 15	堆肥回収のため、トラクターショベル（機体重量：5.8t）にて堆肥舎から前方道路に向かって左折し、直進しようとした際、当該道路を堆肥舎へ向かって歩いていた被災者と激突した。	70101	6		30 ～ 49
2016	6	9 ～ 10	タイヤショベルでコンクリート塊（ガラ）を移動させている時、敷地内に設けた池（水深約3メートル）にタイヤショベルとともに転落した。	10909	1		1～ 9
2016	5	14 ～ 15	個人住宅の外構工事において、道路から約3mの高さにある宅地面までドラグショベルを移動するため、斜面を自走で登っていたところ登りきれず、斜面の途中で上部旋回体を旋回させたところ横転した。	30199	2		10 ～ 29
2016	5	22 ～ 23	道路工事のトンネル内において、坑口から760m地点で被災者が発破後の切羽の状況を点検した後、切羽から坑口に向かって歩いていたところ、切羽から坑口方面に後進してきたホイールローダーに轢かれた。	30102	7		30 ～ 49
2016	3	13 ～ 14	被災者と同僚2名がブル・ドーザーの運転席以外の場所に乗車し、土場から地拵作業現場（尾根付近）まで移動した。作業現場に到着した当該ブル・ドーザーが、帰路に向けて方向転換するために旋回し後退した時、ブル・ドーザー後部（ウインチ部）に乗車中の被災者が、降車し又は振り落とされたため、後退中のブル・ドーザーに轢かれた。	60209	7		1～ 9
2016	2	9 ～ 10	電気操作室内のストーブへの灯油供給に伴い、被災者は、ポリ容器内部の汚れを灯油で落とし、これを廃棄するためプラント作業場に立っていたところ、同僚の運転するトラクターショベルに轢かれ、頭部挫滅により死亡した。	20201	7		10 ～ 29
2016	1	9 ～ 10	土地造成工事において、ブル・ドーザーの運転手が、前日駐機していた場所から指示された作業箇所に走行中、深さ約1.2メートル、法面勾配約40度の道路敷設予定の掘削部に降りた際、運転席より車外に転落し、同機の履帯（クローラ）に巻き込まれた。同ブル・ドーザーは無人のまま約86メートル自走し、電柱に衝突し停止した。	30199	7		30 ～ 49
2016	1	16 ～ 17	道路の舗装工事で路盤整正作業中に、傾斜している道路の山側にモーターグレーダーを停車させ、運転手が運転席から降りた後、谷側の作業の様子を見に行った時に、モーターグレーダーが斜面を逸走し始め、谷側で作業をしていた労働者を轢いて付近の空き家に衝突して止まった。	30106	7		10 ～ 29

2017	12	10 ～ 11	被災者をホイール式トラクター・ショベルのバケットに乗せ、倉庫の外壁を張る作業を行っていた際に、同機械の運転者が同機械を後退、被災者がバランスを崩しバケットから墜落したところへ同機械を前進させたため、被災者の頭部をタイヤで轢いた。	170209	1	50 ～ 99
2017	12	20 ～ 21	構内において、被災者がコンクリートミキサー車の洗車のため通行していたところ、他の構内下請事業者の労働者が運転するトラクター・ショベルにはねられた。	40301	7	10 ～ 29
2017	11	12 ～ 13	被災者が、売却予定であったブルドーザーの燃料をトラックの荷台に置かれたドラム缶に移す作業を行っていたところ、ブルドーザーが動きだし、ブルドーザーの左後方角とトラックの左側ドアの間に挟まれた。	30106	7	10 ～ 29
2017	10	8 ～ 9	被災者は、収穫された甜菜を輸送するダンプトラックの運転手である。積み込み先農家の畑内において、他事業場の労働者が運転する専用バケットを装着したホイール式トラクター・ショベルでダンプトラックに甜菜を積み込む作業中、当該ショベルの前方にいた被災者が地面にこぼれ落ちた甜菜を拾おうとしたところ、バケットを下げながら前進してきた当該ショベルのバケットの下敷きとなった。	40301	6	10 ～ 29
2017	10	10 ～ 11	機体重量3.65tのブルドーザーを使用して整地作業を行っていた被災者が、整地箇所から農道へ通じる傾斜11°程度の仮設の通路において、当該ブルドーザーのクローラーの下敷きになっているところを発見された。	30109	6	10 ～ 29
2017	10	12 ～ 13	自社倉庫内において、大型トレーラーにバラ積みされた粉穀を下ろし、ホイール式トラクター・ショベルを使用して当該粉穀を倉庫奥に押し込む作業が行われていた。被災者は別の大型トレーラーの運転手であり、倉庫の外で順番待ちをしていたが、何らかの理由により倉庫内に歩いて進入したところ、後進してきたホイール式トラクター・ショベルの後輪に轢かれた。	40301	7	10 ～ 29
2017	10	6 ～ 7	作業場に仮置きしてある鋼製の箱（幅61cm、奥行91cm、高さ62cm）に資材を収納するため、事業者がドラグ・ショベルを運転して、玉掛用具によりつり上げて箱を移動させようと、箱の上方にバケットを移動させ、被災者の指示によりバケットを下降させたところ、被災者の頭部にバケットが当たった。なお、被災者は保護帽を着用していなかった。	11209	6	1～ 9
2017	9	8 ～ 9	ドラグ・ショベル（以下、「重機」という）にて、残土置き場（高さ約10m）の整地作業中、重機のクローラーの真下にある土砂が沈下して重機が傾いた際に、被災者が運転席から投げ出されるとともに重機が横転し、重機の下敷きとなり死亡した。	30199	2	10 ～ 29
2017	7	12 ～ 13	ほ場区画整理工事現場において、被災者はブル・ドーザー（機体重量7トン）を運転し整地作業中、エンジンを掛けた状態で運転席を降り左側クローラーの上に立ったところ、ブル・ドーザーが後進し被災者は地面に墜落、クローラーに轢かれた。	30109	7	30 ～ 49
2017	7	8 ～ 9	物流倉庫内に積まれた粉末の飼料を移動させるため、一番高い位置に上げたトラクターショベルのバケットを降下させている時に、近くにいた被災者が運転席前方に入り込み、アームとショベルカー本体に胸を挟まれた。	50202	7	1～ 9
2017	6	10 ～ 11	再生砕石である路盤材の置き場において、路盤材に混入している異物を除去する作業を行っていた被災者が、後進してきたトラクター・ショベル（機体重量3トン以上、バケット容量3m ³ ）の右後方タイヤに轢かれた。	150102	7	1～ 9
2017	5	12 ～	トラクター・ショベルを使用したハッチ（子牛を飼育する木製の小屋）の移動作業において、トラクター・ショベルのバケットを上げ、ハッチをバケットから吊り下げた状態で走行していたところ、タイヤが何かに乗り上げた感触があり、運転者はトラクター・ショベルを停めて、運転席から降りトラクター・ショベルの左側を見ると被災者が倒れ	70101	7	10 ～

		13	ているのを発見した。			29
2017	2	10 ～ 11	ガソリンスタンドの敷地内において、労働者がトラクターショベル（機体重量3トン以上）を運転して、寄せ集められた雪を4トントラックへ積み込む作業を一人で行っていた。その作業中、トラクターショベルを後退させた際にガタンという音がしたため、運転席から降りて確認したところ、仰向けで地面に倒れている被災者を発見した。	150102	7	100 ～ 299
2017	1	12 ～ 13	タイヤ会社において、荷物搬送用エレベーターの点検作業を行っていた被災者が搬器の上端の梁と2階エレベーター出入り口部の上部との間に上半身と右足を挟まれた状態で発見された。	170201	7	10 ～ 29
2018	10	16 ～ 17	道路維持修繕業務の一環として、台風の影響により道路上に飛散した枝葉等を（ホイール式）トラクターショベルを用いて除去していたところ、ガードレールが設置されていない路肩から崖下にトラクターショベルごと転落したものの。	30106	1	1～ 9
2018	9	6 ～ 7	災害発生事業場は土木工事を請け負う事業場。被災者は事業場敷地内でダンプカーの荷台にドラグショベル（機体重量2.57t）を積み込もうとしていた。ドラグショベルを自走して乗せるために荷台へ前進ブームを左旋回その後急にブームを右旋回した。そのため、ドラグショベルがバランスを崩して横転し、被災者は地面とドラグショベルのヘッドガードとの間に上半身を挟まれて死亡したものの。	30106	1	1～ 9
2018	7	10 ～ 11	建物（鉄骨造）の解体作業中、天井板等をパワーショベル（機体重量1.5t、ヘッドガードなし）で落としていたところ、天井材等がパワーショベルのアーム部分に崩れ落ち、バランスを崩して側方に横転し、投げ出された被災者が柱（鉄骨）とパワーショベルの間に挟まれた。	30199	2	10 ～ 29
2018	7	16 ～ 17	現場（個人宅庭木剪定作業）で出た枝葉を、会社敷地隣接の山林にある仮置場に保管する為、トラックから降ろした枝葉約1.5立米を、トラクターショベル（機体重量：2585Kg）で押していたところ、左側に転倒し、被災者の頭部がトラクターショベルのヘッドガードの支柱と地面の間に挟まれ被災したものの。	30199	2	10 ～ 29
2018	7	12 ～ 13	被災者は客先の牧場敷地内において自走できる給餌機を修理後、牛舎に戻すため給餌機を運転して敷地内道路を移動していたところ、バケットを上昇させたまま走行してきたトラクター・ショベルに激突され、給餌機の機械操作レバーに頭部が刺さり死亡したものの。なお、トラクター・ショベルの運転者は牧場事業主の親族であった。	80209	6	10 ～ 29
2018	7	8 ～ 9	夜間、ずい道掘削を行っていたが、電線の長さが足りなくなったため、予定を変更し、朝から路盤整地等の作業を行うことになった。切羽前に残っていたズリをバックホウで寄せ集め、後方で大型タイヤショベルが待機していた。隣の小型バックホウが物を取りに前へ移動しようとしたため、これを除けようと大型バックホウが斜めに後退した後、前へ進んだ。小型バックホウが後ろへ戻ったところ、被災者が倒れているのを発見した。	30102	7	30 ～ 49
2018	6	14 ～ 15	スキー場デリジャンス管理用重機道修繕工事において、被災者がブルドーザーを運転し、スキー場下山コースを下山しようとしたところ、コースを逸脱し、コース外へブルドーザーと共に約50メートル転落し、心肺停止の状態で見されたものの。	30199	1	50 ～ 99
2018	6	16 ～ 17	造成工事中、スクレイパーの運転手が打ち合わせのため、運転席から降りて履帯の上に立ち、近くにいたブルドーザーの運転手と話をしていたところ、スクレイパーが動き出して履帯から前方に転落し、両大腿部を履帯に轢かれ被災した。現場は下り勾配（約10%）であった。	30109	7	10 ～ 29
2018	3	12 ～ 13	防波堤拡幅工事現場において、起重機船を使用して海中から被覆ブロックを1個（重量4.0t）を引き上げて防波堤に仮置きした。その後、クレーン機能付きドラグ・ショベル（つり上げ荷重2.9トン）で被覆ブロックを積み上げるため、被覆ブロックをつり上げた状態で後進し、右旋回させたところ、旋回角度が90度付近でバランスを崩し、ドラグ・ショベルとともに海中に墜落したものの。	30111	10	50 ～ 99
		10	被災者は朝からトラクターショベルを運転し、事業場の敷地の排雪を行っていたが、燃料が少なくなってきたことか			10

2018	2	11	ら、事業場に保管されているポリタンクから燃料を給油するため、タイヤのカバー部分（高さ1.56m）に上がり、地上の同僚と給油口の上のカバーを持ち上げた。他の運搬車が入ってきたため、誘導のため同僚が離れたところ、ドスンという音がし、振り返ったところ、被災者が床に倒れていた。	150102	1	29
2018	2	8 9	資材置場の地ならし作業をしていたドラグショベルが後退したところ、後ろにいた被災者の左足に激突した。その後病院に搬送されたものの、後日死亡が確認されたもの。	30199	6	1 9
2018	1	22 23	被災者は、排雪作業現場で一般車両の交通誘導を交差点の道路上で行っていたところ、被災者の後方から後進してきたモーター・グレーダーが、交差点を後進のまま左折したところ、外輪差のために右側前輪で被災者を轢いたもの。なお、助手席に乗り込んでいた助手が倒れている被災者を発見し、救急車により病院に搬送されたが死亡したもの。	170201	17	30 49
2018	1	10 11	基地において、当該事業場の労働者Aがトラクター・ショベルを用いて、基地内で掘削した土砂等の運搬作業をしていたところ、車両誘導作業をしていた被災者に気づかず後進したためトラクター・ショベルの右側後輪に接触し、巻き込まれたもの。なお、被災者は、入院により継続治療を行っていたが、後日死亡したもの。	150102	6	10 29
2019	12	6 8	牛の飼料生産の受託先の敷地内で、トラクター・ショベルでバンカーと呼ばれる飼料置き場の飼料をならしていた際、近くに居た被災者が自分の持ち場に戻っていったところを確認したため、停車させたトラクター・ショベルを前進させたところ、被災者が急に後ろ向きによるめき、後頭部から地面に倒れたため、ブレーキが間に合わず、トラクター・ショベルの右前輪に轢かれ、死亡したもの。	11709	7	30 49
2019	12	8 10	可燃ごみを廃棄物処分場に持込み、廃棄作業を行っていた労働者が、廃棄物処分場の労働者が運転するドラグ・ショベルに轢かれたもの。ドラグ・ショベルにはバックモニターが設置しており、運転手は後方にいた被災者に気づいていたが、被災者と距離があると思い後退させた。	150103	6	30 49
2019	11	6 8	生コンプラント工場敷地内において、トラクターショベルを使用して作業中であった同僚が、トラクターショベルからドラグショベルに乗り換えるため、トラクターショベルを構内の隅に後進で移動させようとしたところ、近くを歩行中であったコンクリートミキサー車運転手（被災者）に接触して右後輪で轢いたものである。	10901	7	10 29
2019	11	12 14	一般家屋解体工事現場において、庭石をアームローラー車へ積込作業を行っていた際に、0.3tから0.4tの庭石を高さ約2mの位置から荷台へ落下させたことで、荷台後方の扉が押し開いて、近くで交通誘導を行っていた被災者に激突した。被災者は搬送先病院にて同日死亡した。	30209	6	10 29
2019	10	16 18	被災者は、採石場において、場内を走行していたトラクター・ショベルの進路に立ち入ったため、トラクター・ショベルと接触後その前輪に轢かれたもの。	20201	7	1 9
2019	9	10 12	被災者は屋内の鶏糞保管施設においてトラクター・ショベルを運転中、鶏糞で成形した道の下り坂（傾斜角11度）で高さ1.7～1mの路肩からトラクター・ショベルとともに転落したもの。なおトラクター・ショベルのバケット内は空荷であった。被災者の傷病名は脳挫傷、傷病部位は左側頭部。被災者は一人で作業を行っており被災時の状況を現認したものはいなかった。またシートベルトは装着しておらず保護帽も着用していなかった。	10101	1	300 499
2019	8	14 16	工場（屋内）において、機体重量3トン以上のホイールローダーで、丸太（直径36～40cm、長さ3～4m、約20本）を運んでいたところ、工場内を歩いていた被災者をひき、死亡させたもの。	10401	6	50 99
2019	6	4 6	コークス工場にある「ガイド車」のレールが敷設されている「プラットホーム」（幅約3m）において、そこに落ちているコークス屑の撤去作業をトラクターショベル1台を用い、被災者を含む5名で行っていた。プラットホーム中央に掻き寄せたコークス屑をトラクターショベルで掬い上げ、後退していたところ、その後部にいた被災者が轢かれた。	150109	7	10 29

2019	5	8 ～ 10	豪雨災害により発生した路面の土砂および山腹を切り取りした後の土砂をダンプトラック1台、ドラグショベル1台により搬出する作業を事業者と被災者の2名で行っていた。事業者がダンプトラックで土砂を残土場に運搬し戻ってきた際、盛土した法肩から谷方向へドラグショベルと共に約25メートル転落していた被災者を発見したものの。	30106	1	1～ 9
2019	3	10 ～ 12	被災者は、前日に降った雨によりぬかるんだ砕石プラント内の土砂（泥状）を除去するため、ホイールローダーを自ら運転作業中、土砂を一旦プラント外へ捨て、再度現場に戻ろうと後進していたところ、当該ホイールローダーの右後輪が地山に乗り上げ車体が傾き、被災者が地面に投げ出された。その後、横転してきたホイールローダーに頭部が挟まれたもの。	20209	2	30 ～ 49
2019	3	8 ～ 10	工場敷地内の堀の入替工事現場で、堀の取り外し及び撤去作業をドラグショベル（機体重量3t未満）を用いて行っていた。被災者はドラグショベルを運転し結束した部材をバケットに付属しているフックに掛けて吊り、約15mほど後退した後旋回して部材を下ろそうとしたところ、機体がバランスを崩して転倒し被災者の頭部がブームと地面近くの配管との間に挟まれ被災したものの。ドラグショベルは移動式クレーン仕様ではなかった。	30309	2	10 ～ 29
2019	2	12 ～ 14	林道開設作業において、掘削作業箇所の立木の根が浮いた状態であったため、前方（木を倒す方向）の確認を行い、油圧ショベルのバケットで押して倒したところ、被災者に倒した木があたり死亡したものの。	60201	6	30 ～ 49
2019	1	2 ～ 4	被災者は、船倉で壁の石炭をかき落としていたところ、後退してきたブル・ドーザーに激突され、死亡した。	50202	6	10 ～ 29
2020	11	10 ～ 12	ゴルフ場の芝かす置き場において、被災者はトラクターショベルを用いて芝かすの山を敷き均し作業を行っていたところ、当該機で坂道を後退中に後輪が路肩から脱輪して転落し、運転席から投げ出されて当該機の下敷きとなり死亡したものの。	140301	1	50 ～ 99
2020	11	10 ～ 12	被災者は、災害復旧護岸工事でフレコンバックの土のう（高さ1m、重量1t程度）に玉掛けするため、ドラグ・ショベル（クレーン機能なし、総重量15t）のオペレーターに合図をし、バケットを被災者の頭上位置に停止させた。被災者の玉掛け開始後、オペレーターが足に痛みを感じて腰を上げた際に左袖がブームのレバーに触れ、安全レバーのロックをかけていなかったため、バケットが急降下し、被災者の頭部に直撃しはさまれた。	30107	7	1～ 9
2020	11	14 ～ 16	被災者はトラクター・ショベルのバケット及びリフトアームを稼働させる各シリンダの油圧ホースの交換を行っていた。左右にあるリフトシリンダの油圧ホースを交換した後、ダンプシリンダの油圧ホースを交換するため、車両前面の点検口より油圧ホースの取り外しを行っていた際に、リフトアームが下降し、リフトアームと車両本体との間に上半身をはさまれたもの。	80209	7	1～ 9
2020	8	12 ～ 14	公園運動場の水害による汚染土壌を掘削する工事現場において、被災者は、トラクター・ショベルを運転して、小高く盛られた地山に掘削残土を運んでいたところ、地山の肩からトラクター・ショベルごと転落し、翌日、死亡したものの。	30199	1	1～ 9
2020	8	10 ～ 12	作業員5名が漁港での昆布の洗浄作業を行っていたところにトラクター・ショベルが暴走して突っ込み、労働者2名を含む計4名の作業員が被災。労働者の内1名が死亡したものの。災害発生当時、漁港では他に数名の作業員が昆布の洗浄作業に従事していた。	70201	7	1～ 9
2020	6	0 ～ 2	ブル・ドーザー（15トン）のオペレーターとして入場していた被災者が、運転席から無限軌道上に落下、そのまま無限軌道に運ばれ、ブル・ドーザーの下敷きになり、死亡したものの。被災者は後方でドラグショベルを運転していた作業員に声をかけるため、キャabinを開放し、運転席から立ち上がり、身を乗り出した状態で、運転しながら、後方に向かって声を出していたところ、バランスを崩し、無限軌道上に落下したとされる。	30106	7	30 ～ 49
		10	採石場の通路においてホイール式トラクターショベルを走行していたところ、路肩の盛土を乗り上げ、機械とともに			10

2020	6	～	約3 1. 6 m下の防災池に墜落したものの。法面を滑落中に、被災者は運転席から投げ出されており、災害発生約2時間3 0分後に池中で発見され、死亡が確認された。	20201	1	～	29
2020	5	10 ～ 12	被災者はトラクターに搭乗し、堆肥を散布するスプレッダーという機械をけん引し、堆肥散布作業を一人で行っていたが、作業中にスプレッダーの後輪が側溝に脱輪したため、トラクターショベルでスプレッダーをつり上げようと試みたところ、トラクターショベルが左側に横転した。被災者はキャビンのフレームに右足を挟まれた状態で発見され、当初意識はあったが搬送先で容体が急変し死亡した。	10101	2	10	～ 29
2020	4	16 ～ 18	産業廃棄物プラントにおいて、エンジンがかかった状態で停止していたトラクターショベルに対し被災者がメンテナンス作業をするため重機左側前輪と後輪の間に入り作業を行っていたところ、別の運転手が被災者に気付かず前進させたため、左後輪に巻き込まれたもの。	150102	7	1～	9
2020	4	10 ～ 12	砂利選別プラントの敷地内において死亡している被災労働者が発見されたもの。被災労働者は、工場長とともに重機の修理作業を行っており、敷地内にある休憩室に一人で部品等を取りに行くために歩いて移動していたところ、同僚の労働者が運転するトラクター・ショベルに轢かれたものとみられる。同僚の労働者はトラクター・ショベルで砂利をホッパーへ投入する作業を行っていた。	20202	6	10	～ 29
2020	2	10 ～ 12	太陽光発電所建設工事現場の雨水排水工事において、プラスチック側溝を仮置き場から施工箇所付近まで運搬する業務を行っていた際に、施工箇所付近にて不整地運搬車に積まれた側溝をドラグ・ショベルを用いて荷下ろし作業を行うにあたり、被災者が不整地運搬車の後ろで玉掛け用ベルトスリングを持って待機していたところ、近づいてきたドラグ・ショベルと不整地運搬車の間にはさまれ、死亡したものの。	30109	7	1～	9
2020	2	2 ～ 4	アスファルトプラントに資材を引き取りに行き、ダンプトラックから事務所受付に行くため歩行中に、労働者が運転するバケットに資材を積み込んだ車両系建設機械（トラクターショベル）に轢かれて死亡したものの。	30110	6	1～	9
2020	1	10 ～ 12	製鉄所構内の高炉付近において、ベルトコンベヤから落下し、堆積したコークスの破片や粉じんを、被災者がホイールローダーを運転して集積場所へ運搬する作業を単独で行っていたところ、ホイールローダーを後退させた際に背後にあった常設の階段とハンドルとの間に胸部を挟まれ、死亡したものの。	11001	7	100	～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/SIB_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_02.html